

**製品名: SHP2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87608**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:68 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SHP2
別名	Syp; Shp2; PTP1D; PTP2C; SAP-2; SHP-2; SH-PTP2; SH-PTP3; 2700084A17Rik
遺伝子 ID	19247
SwissProt ID	P35235
免疫原	マウス SHP2 の組み換えタンパク質

**背景**

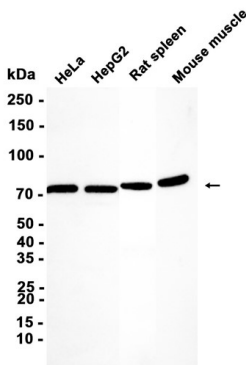
細胞接着分子結合活性、タンパク質チロシンホスファターゼ活性、およびシグナル伝達受容体結合活性を可能にします。軟骨細胞分

化の負の制御、サイトカイン産生の正の制御、および骨化の正の制御に関与します。細胞表面受容体シグナル伝達経路、骨髄細胞分化、およびホルモン分泌の調節を含むいくつかのプロセスの上流または内部で作用します。ミトコンドリア、細胞膜ラフト、およびストレスファイバーを含むいくつかの細胞成分に位置すると予測されています。タンパク質含有複合体の一部であると予測されています。消化器系、脳、泌尿生殖器系、血リンパ系腺、および肝臓および胆道系を含むいくつかの構造で発現します。ヌーナン症候群 1、多発性黒子を伴うヌーナン症候群、肝細胞腺腫、内因性心筋症 (多発性)、および若年性骨髄単球性白血病を含むいくつかの疾患の研究に使用されます。この遺伝子のヒト相同遺伝子は、ヌーナン症候群 (多発性)、多発性黒子 1 型を伴うヌーナン症候群、萎縮性胃炎、若年性骨髄単球性白血病、中軟骨腫症など、複数の疾患に関与することが示唆されている。ヒト PTPN11 (タンパク質チロシンホスファターゼ非受容体型 11) と相同性がある。[Alliance of Genome Resources 提供、2022 年 4 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



SHP2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、HepG2 細胞およびラットの脾臓、マウスの筋肉組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。